

高橋秀樹, 共著『ソシアビリテの歴史的諸相—古典古代と前近代ヨーロッパ—』(南窓社, 2008年), 担当部分: 8-25頁。

細田あや子, 単著『「よきサマリア人」の譬え—図像解釈からみるイエスの言葉』三元社, 全543頁

松本 彰, 共著『ピアノはいつピアノになったか?』(大阪大学出版会, 2007年), 担当1-28頁

石田美紀, 「50年代のジャン・ルノワール—芝居とミュージカル」京都国立近代美術館 ルノワール+ルノワール展関連シンポジウム招待講演, 2008年7月6日(日)

桑 原 聡, "Mystisches Denken als eine interkulturelle Wissensform", Saoshi Kuwahara, Humboldt-Kolleg in Rikkyo, Alexander von Humboldt-Stiftung und Rikkyo University, 立教大学(2008) "Mystisches Denken als eine interkulturelle Wissensform", Saoshi Kuwahara, Humboldt-Kolleg in Rikkyo, Alexander von Humboldt-Stiftung und Rikkyo University, 立教大学, 2008年

逸見龍生, 「『百科全書』研究の新天地平」『日本18世紀学会年報』No.23, pp.8-10, 2008年

井山弘幸, 単著『笑いの方程式』化学同人, 2007年

佐渡越後文化交流史プロジェクト

研究代表者 原 直 史

1. プロジェクトメンバー

原 直 史 (新代表者)

芳 井 研 一

矢 田 俊 文

池田哲夫
橋本博文
鈴木孝庸
飯島康夫
堀健彦
中林隆之
荻美津夫
菊地真
小野博史
白石典之(協力者:超域研究機構)

2. プロジェクトの概要

佐渡および越後地域をめぐる文化交流について、歴史、考古、地理、民俗、社会思想史、文学等の各分野から、現地調査を加味しつつ、研究資料・研究文献を広く調査蒐集し、日本列島における東西文化交流と定着について総合的、実証的研究をすすめる。具体的には両地域を中心とした地域の古文書や文学資料、古地図、遺跡発掘データの収集と検討、民俗学的事例研究などを通して当該地域の文化交流について考察する。数回の研究会、研究報告書刊行を計画している。

「佐渡越後文化交流史プロジェクト」これまでの経緯

同プロジェクトの開始：平成9年(1997)～平成15年(2003)

現社研プロジェクト

平成16年(2004)～現在に至る

人文学部プロジェクト

3. プロジェクト成果

1. 『佐渡越後文化交流史』の発行—平成12(2000)年度以降。1～10号(10号は平成21年度発行)

『佐渡越後文化交流史』第2号

論文

大橋勝男「越佐漁業集落の風語彙」

池田哲夫「『忌みの日』—忌みの意義をめぐって—」

研究課題と展望

萩美津夫「日本海側諸地域における藝能文化交流史の課題」

『佐渡越後文化交流史』第2号

鈴木孝庸「佐渡の戦国軍記—『久知軍記』伝本雑攷—」

原直史「史料紹介—小木町敦賀屋文書」

堀健彦「佐渡国中平野の条里地割分布に関する研究の現状と基礎資料の
遺存状況」

『佐渡越後文化交流史』第3号

小林昌二「古代の蒲原津と『四度目沼垂町割絵図』」

池田哲夫「柳田国男と石見佐次右衛門—『島根民俗』にみる佐渡の旅—」

橋本博文・他新潟大学考古学教室「新潟大学考古学教室二〇〇二年佐渡
調査報告」

付編 小村美代子「長者ヶ平遺蹟ほか出土黒曜石の原産地推定」

『佐渡越後文化交流史』第4号

論文

土田加奈「私部の伝領と皇后—安房・若狭・隠岐・淡路の事例を中心
に—」

芳井研一「電気料問題と地域社会」

研究ノート

竹田和夫「佐渡の農の民俗への視点—田植習俗を中心に—」

資料紹介

池田哲夫「佐渡年中行事調査標目 (1)」

報告

橋本博文・他新潟大学考古学研究室「新潟大学考古学研究室2003年粟
島調査報告」

『佐渡越後文化交流史』第5号

資料紹介

池田哲夫「佐渡年中行事調査標目(2)」

補遺

鈴木孝庸「『久知軍記』伝本雑攷補遺」

報告

新潟大学人文学部芸能論ゼミ「平成12・13・15年度調査報告—柏崎市
女谷の綾子舞(1)—」

『佐渡越後文化交流史』第6号

資料紹介

池田哲夫「佐渡冠婚葬祭調査要目(1)」

報告

新潟大学人文学部芸能論ゼミ「平成12・13・15年度調査報告—柏崎市
女谷の綾子舞(2)—」

『佐渡越後文化交流史』第7号

論文

小林昌二「古代日本のシナノとコシ」

芳井研一「近代自治論の一系譜—伝統的自治論を転形させた山口千代
松—」

資料紹介

池田哲夫「小林存著『郷土研究入門手帳』」

『佐渡越後文化交流史』第8号

論文

芳井研一「1920～30年代における町村長会の活動」

荻美津夫「柏崎市西山町石地石井神社に伝わる大和舞(神楽)と江戸
時代末期から明治時代初期における祠官山岸氏の兼帯神社—序—」

資料紹介

池田哲夫「小林存著『郷土研究入門手帳』」(続)

『佐渡越後文化交流史』第9号

資料紹介

池田哲夫「加茂郡釜屋村 御宮社役暦代記帳」

報告

橋本博文・菊地真他「新潟大学考古学研究室2008年度佐渡調査報告」

2. 研究会の開催

- 1) 日時：平成12年12月21日（木）午後4時30分より7時ころまで
会場：人法経校舎2階 第一会議室

研究報告：

1. 大橋勝男「佐渡の漁ことば」
2. 池田哲夫「佐渡の卯の日祭り」

- 2) 日時：平成13年12月13日（木）午後6時00分～7時30分頃まで
会場：教養校舎B棟地域文化資料室（B455）

研究報告：鈴木孝庸「佐渡の戦国軍記」

- 3) 日時：平成14年9月25日（水）午後5時00分～6時30分頃まで
会場：人法経校舎2階 第一会議室

研究報告：

相沢 央（新潟国際情報大学非常勤講師）「佐渡の国の贄」

- 4) 日時：平成15年1月24日（金）午後4時30分～6時00分まで
会場：総合教育研究棟4階地域文化資料室

研究報告：

鈴木孝庸「佐渡・越後の軍記に関する二題—『久知軍記』の考察補遺など—」

- 5) 日時：平成15年11月27日（木）午後6時30分～8時30分頃まで
会場：人文学部校舎（旧教養校舎）A棟3階 学際交流室

研究報告：

1. 土田可奈（現社研）

「私部の伝領と皇后—安房・若狭・隠岐国の事例を中心に—」

2. 竹田和夫（現社研）「佐渡の田植歌・田植習俗考」

- 6) 日時：平成17年2月2日(水)午後4時30分～5時30分頃
会場：学際交流室(人文学部校舎〈旧教養校舎〉A棟3階)
研究報告：鈴木孝庸「イェール大学所蔵和古書の軍記もの(含関連書)について」
- 7) 日時：平成17年12月21日(水)午後5時00分～6時30分頃まで
会場：総合教育研究棟 A棟3階 学際交流室
研究報告：橋本博文「佐渡における考古学上の未解明問題」
- 8) 日時：平成18年1月25日(水)午後6時00分～8時30分
会場：総合教育研究校舎A棟3階 学際交流室
研究報告：荻美津夫「ササン朝ペルシアの宮廷音楽」
- 9) 日時：平成20年3月13日(木)16時30分～18時00分頃
会場：総合教育研究棟 学際交流室
研究報告：飯島康夫「浦佐毘沙門堂裸押合祭りの民俗」
- 10) 日時：平成22年2月3日(水)16時30分～18時00分頃
会場：総合教育研究棟 学際交流室
研究報告：菊地 真「古墳・古代における微地形発達と遺跡の土地利用状況～事例報告と「地考古学」研究の今後～」

「世界の視点をめぐる思想史的研究」の 活動報告

研究代表者 栗 原 隆

研究の発表媒体として『知のトポス』を刊行するとともに、適宜、研究会を開催して成果を公開している。